学校番号	３０２

令和８年度　公民科

教科	公民科	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「政治・経済」（東京書籍）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○現代社会で学んだ政治・経済の基礎的な知識を活用して、世界の現状をあらゆる視点で俯瞰してほしい。
○現代社会における国際経済の知識や、有権者としての政治的教養を身につけ、社会の一員としての自覚を持ち、主体的に人生を歩む礎としてほしい。
○自らの意思で平和な世界を求め、行動できる思考力・判断力を養ってほしい。
○学んだことを基に探究活動を行い、さらに知識を深めていってほしい。
以上の「あらゆる視点で俯瞰」「主体的」「平和な世界を求め」を意識して学習してください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
グローバルかつ客観的な視点から、政治・経済の基礎的な知識を獲得する。
【思考力、判断力、表現力等】
政治・経済を通して、グローバルかつ客観的な視点で思考することができる。
自己の意思により、選挙の一票を投じられる判断力を培う。
【学びに向かう力、人間性等】
平和を希求し、貢献できる人物を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の政治・経済、国際関係に係る基礎的な知識を身につけている。 また、その知識を活用し、現代社会の諸課題を正確に把握することができる。	現代の政治，経済，国際関係にかかわる事柄から、人間が解決すべき課題を見いだし，グローバルかつ客観的な視点から考察し，社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して，その過程や結果を適切に表現できる。	現代の政治，経済，国際関係に対する関心を高め，意欲的に課題を追究する姿勢が見られる。また社会の一員として平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参画、協力する態度を身に付け人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	政治のしくみと諸課題	・日本の政治 ・国際政治 ・日本及び国際政治の諸課題	a:現代の政治の基礎的な知識を、その成立過程をふまえ理解している。また、国内外問わず、現代の政治の問題点を正確に捉えている。 b:政治が持つ意義や、国際政治の必要性を多角的に思考することができる。また、日本及び国際政治の諸課題を見極め、適切に表現することができる。 c:私たちの生活の中に深く関わる政治に関して自分事として意欲的に理解を深めようとする態度が見られる。	定期考査 確認テスト 単元課題	定期考査 ワークシート 単元課題	ワークシート 予習・復習課題 探究活動
2学期	経済のしくみと諸課題	・現代の経済社会のしくみ ・日本経済の諸課題 ・国際経済のしくみと諸課題	a:現代の経済社会の基礎知識をその成立過程も踏まえ理解している。また、国際政治の必要性や、諸課題を諸資料から捉えることができる。 b:様々な経済活動を俯瞰して捉え、経済全般の関連性をふまえ思考することができる。また、日本の経済や国際経済の諸課題を広い視野から考察し、適切に表現することができる。 c:経済に対し、自身の実生活とのかかわりを持って理解を深めようとする態度が見られる。また、実生活の経済活動の体験から、発展させ理解しようとする意志が見られる。	定期考査 確認テスト 単元課題	定期考査 ワークシート 単元課題	ワークシート 予習・復習課題 探究活動

3学期	国際社会の諸課題とその解決に向けて	・国際社会の諸課題 ・SDGsの実現に向けて	a: 人類共通の課題を諸資料から正確に読み取り、理解することができる。また、解決に向けた取り組み内容を理解できる。 b: 人類共通の課題について、その原因と解決、是正について考察し、適切に表現できる。 c:人類共通の課題を、当事者意識をもって理解を深めようとしている。	定期考査 確認テスト 単元課題	定期考査 ワークシート 単元課題	ワークシート 予習・復習課題 探究活動

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度